

開心
静聴
充満
献身
奉仕

日本クリスチヤン・アシュラム連盟

冬季号

日本アシュラム

WINTER 1985

United Christian Ashrams of Japan

53

ジム・マシューズ博士を迎える

三十周年記念の諸行事 主の祝福に満されて終る

日本に於て最初のアシュラムが開かれた一九五五年から三十年、主の深い愛の導きを感謝して、去る九月に記念行事を守つたが、この間にスタンレーを初め、ワグナー、バーグ、ハンター、ウエブスター夫人、カルース、シーマンズ、ニルソン、タイタス、セイラ、マシューズなど、多くの兄弟の協力と奉仕により溢れる恵みが、多くの個人にも教会にも注がれたのである。

三十年記念の標語は『主にある交わりの喜び』(ヨハネ第一書一章三常)として、世界アシュラム委員長マシュー・ズ師を迎え、十四日東京での歓迎会十五日礼拝説教は碑文谷教会で百名の合衆に力強い第一声を発せられ、十六日松山に飛び、四国アシュラム(河野修委員長)の指導をされた。出席二八名の少数であったが、活気に満ちていた。十九日空路福岡に着き、九州アシュラム(川野直人委員長)に臨まれ、八木山福岡女学院研修寮で三五名の参加者に、ヨハネ福音書についての講話をされましたが、師の信仰と人格から流れ出る一語一語に一同大きな靈感を受けた

日本に於て最初のアシュラムが開かれた一九五五年から三十年、主の深い愛の導きを感謝して、去る九月に記念行事を守つたが、この間にスタンレーを初め、ワグナー、バーグ、ハンター、ウエブスター夫人、カルース、シーマンズ、ニルソン、タイタス、セイラ、マシューズなど、多くの兄弟の協力と奉仕により溢れる恵みが、多くの個人にも教会にも注がれたのである。

三十年記念の標語は『主にある交わりの喜び』(ヨハネ第一書一章三常)として、世界アシュラム委員長マシュー・ズ師を迎え、十四日東京での歓迎会十五日礼拝説教は碑文谷教会で百名の合衆に力強い第一声を発せられ、十六日松山に飛び、四国アシュラム(河野修委員長)の指導をされた。出席二八名の少数であったが、活気に満ちていた。十九日空路福岡に着き、九州アシュラム(川野直人委員長)に臨まれ、八木山福岡女学院研修寮で三五名の参加者に、ヨハネ福音書についての講話をされましたが、師の信仰と人格から流れ出る一語一語に一同大きな靈感を受けた

ようで、幾人かの青年たちの出席があつたことは大きな勵みであつた。二二日の朝は大阪扇町教会の礼拝で会衆一三三名を前に靈味深い説教をされ一同感謝、二三日の早朝はクリスチヤンセンターで朝禱会に奨励、午後は雨の中での第十八回キリスト教少年団大会に集つた三百名に力強い激励のメッセージを与え、夕刻新幹線で東京に帰られた。

関東アシュラム(渕江淳一委員長)

は二三日午後から奥多摩の福音の家で参加者七五名により開心、祈りの細胞が守られていたが師は翌日朝食時に到着、九時から福音の時にヨハネ福音書の講話(第一回)、労作、祈りの細胞のあと夕食後さんびと証しの時にも師による靈味豊かな証しがあり一同感激、連鎖祈禱に多くの参加があり、静聴、朝食の後、再び師による福音書講話(第二回)を伺う。充满の時には溢るし聖靈の恩化に浴し一同主を讃美しつつ散会した。今回は統一集会としなかつたが、各地で三十年の祝福と恵みに与かることでき感謝に耐えない。

(N·E)



▼連盟は創始者の祈りによつて各地に生れたファミリーの全国的な交わりであつて、常に新しい家族(単位)の参加を期待している。

発行人 海老澤
一部60円
定価
元嗣宣
60円
郎道

妹と共に捧げる者です。我らは皆様をわれらの唯一の主を礼拝し、証し、仕える仲間と認めます。どうか主がお一人お一人に、御一同に、全てのアシュラム運動に永く実りある奉仕をお許し下さるよう、イエスは主なり。

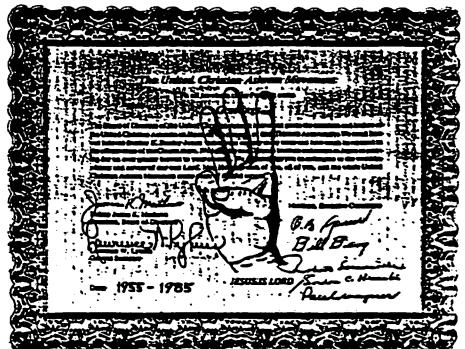
日本アシュラム連盟より

日本アシュラムへの祝辞

(今回日本アシュラム三十年記念を祝して米国からマシュー・ズ博士が持参し、全国八地区委員長あてに贈呈された祝辞証書(右写真)には次のように印刷文と署名がある。)

アシュラム同志への挨拶

米国アシュラム連盟理事会は三十一年記念に当たり、日本アシュラムの指導者並びに同志へ御挨拶を申上げます。我々は愛する兄弟スタンレー・ジョーンズがいかに度々貴国を訪問し、いかにそこで教会が有効な働きをしていることを喜んだかを思起します。我々も貴国における更に大きな収穫のための祈りを日本の兄弟姉



妹と共に捧げる者です。我らは皆様をわれらの唯一の主を礼拝し、証し、仕える仲間と認めます。どうか主がお一人お一人に、御一同に、全てのアシュラム運動に永く実りある奉仕をお許し下さるよう、イエスは主なり。

福音の時

ヨハネ福音書から学ぶ (一)

ジェームス・マシュウズ

初めに二章二四一二五節を読んで下さい。「イエスは主なり」、日本に再び来ることができて感謝です。三年前は富士山の下で、今回は川の辺りで守ることを嬉しく思います。米国及び世界中のアシュラムの友人から、三十年記念に対する祝辞を持ちました。主は特に日本を愛しておられると思います。

さてヨハネ福音書を共に学びたいが、聖書は学ぶ前に、よく見る必要があります。日本語の聖書の中に、主イエスが用いられたアラム語がそのまま入っています。マラナタ(第一コリ十六章)イマヌエル(マタイ一章)ホザナ(ヨハネ十二章)エハタ(マルコ七章)アバ父(ロマ八章)

ヨハネ福音書を共に学びたいが、聖書は学ぶ前に、よく見る必要があります。日本語の聖書の中に、主イエスが用いられたアラム語がそのまま入っています。マラナタ(第一コリ十六章)イマヌエル(マタイ一章)ホザナ(ヨハネ十二章)エハタ(マルコ七章)アバ父(ロマ八章)

理事長ジェームス・マシュウズ
総務 ローレンス・W・リキンズ
理事 O・B・スペンサー
ウイリアム・バーク
ゴルドン・C・ハンター
パウル・ワグナー

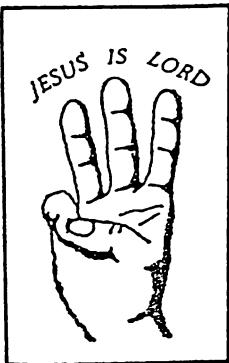
ヨハネ福音書は劇作家、交響楽の作曲者のように、序幕から第一、第二、第三幕、終幕へと進めています。全員で各章を分担して、数分のうちに全部を読み、それから各章に主題をつけましょう。例えば第一章は「言」という風に、さて第二章は「カナの婚姻」ですね、第三章は「ニコデモ」第四章は「サマリヤの女」第五章は「ベテスマ」第六章は「五千人」第七章「安息日」第八章「姦淫の女」第九章「シロアム」十章「良い羊飼い」十一章「ラザロの甦り」十二章「一粒の麥」十三章「洗足」十四章「まことの命」十五章「ぶどうの木」十六章「勝利者イエス」十七章「執成しの祈」十八章「裁判」十九章「十字架」二十章「復活」二十一章「一五三魚」ですね。これとは別の題名をつけることもできます。とに角これでヨハネの全容を一見することができます。聖書は神が人間に語らっている言ですから、どの本よりも良く理解が必要があります。一章は序言で、前半(一一二章)は「時の兆」後半(十三一〇章)は「主の栄光」を示しています。

ここでもう一度二章二四、二五を味読して下さい。大変珍らしい重要な御言です。イエスは人々の見解に自分を任せなかつた。それは全ての人を良く知つておられ、人について證明を聞かずとも、人の心の中の二

ードを知つておられたということです。

三章でニコデモは夜イエスの所へ来ました。ユダヤの指導者が主に教會に行くことは恥かしかったでしょう。知識、学問ある金持の老人であるが、主は彼が新生を必要としていることを見抜かれました。四章ではサマリヤの女が真昼に出てきました。まだ若く貧しく、無学で普通の女、多分罪深い女であつたが、イエスと宗教問題について話したかったでしよう。主は彼女の必要も新生を知つて行く段階がよく判ります。

四二節を見て下さい。彼女がイエスより偉い人、子言者、キリスト、救主というわけです。私たちが主を知るのには時がかかります。然し主は私たち一人一人のニードを完全に知つておられます。私たちを全て愛しておられます。夜きても昼くる人も、老いも若きも、金持も貧しい人も、学問の有無に関係なく、正しい人も



罪人もよくご存知です。古い教師の洗礼者ヨハネに代つて新しい教師イエスが来られ、カナの結婚式では水をぶどう酒に変え古い宮はきよめられて新しくなり、老ニコデモも、若いサマリヤの女も新生し、ロマの役人の子供は医され、主イエスによつて、全ての古い命が新生することを示しています。このヨハネ福音書は新しい生命を私たちに与えるものです。

神の恵みと愛があなたと共にありますように、アーメン。(文責在記者)

靈交の歌

肉体の刺

山根可式

世は移り人は変れど変らざる
主こそわが身のいのちにて在す

○おこそかなる主のみ言を伝えん
と立つ身さまぐ悪魔よ退け
医し主わが身の痛みとり給え
明日の御用に支障なきまで

○痛む身は主に医されてみ言を
とりつぐ幸よ、おそれかしこむ
愛の主は痛むこの身をいたわり

て、み言をもてはげまし給つ。

(五) 教会への奉仕と伝道

●三十年記念の各地アシュラムについては第一面にも述べた通り、マシューーズ師を通して主の恵みを豊かに受けた。その他今夏以来、各地の教会でもミニ・アシュラムが盛に守られ感謝の至りである。

▲安行教会七月十四日有馬義弘師指導、参加十名、横山義孝師の指導会で、海老沢、渕江両師の助言により創世記37-50章にわたり族長ヨセフの信仰に学び、主の恵みを新しく受けたことができた。出席少數乍ら、黙想により主イエスとの靈段一致を体験することはやはりものである。

▲横浜岡村教会七月十三、四日、

▲逗子教会婦人会七月三日ヘテロ

第一書を静聴す。

▼西川口教会三枝道也師三〇名
稻城教会八月十、十一日箱根にて、細川静師、十七名参加

▼潮来バプテスト教会十月二六、七日、満丸茂師指導、五十名、

○関西アシュラム(第19回)都合によりマシューーズ師来日中に開けなかつたが、去十月九、十日シオン

・ロッジにて開催、辻中昭一実行委員長初め委員一同の協力奉仕により参加者七十名が新しい恵みを受けた。後宮俊夫師も終始参加されたことは感謝である。尚今回は大韓教会関係から十数名が参加され、国際的となつた。

▼札幌アシュラム(第六回)去る十一月三、四日北海道クリスチヤンセンターにて、エペソ書三章16節

受けた著者がアシュラムの五大原則と守り方を平易に解説。

ジム・マシューーズ博士 去九月に三回目の来日をされ、前述の如く各地ですばらしい働きをされたが、大阪の集会後、吹田市の中路嶋雄師宅を見舞い、病床で祈られ、暫時会話をして東京に向われた。関東アシュラムの後、インドのボンベイでガンジーの孫その他と面談、アフリカのナイロビで六日間アル中薬害問題協議会に出席、帰米後直ちに南米チリー回へ出発された。

第6回国際クリスチヤン・アシュラム

主題・『イエスは万民の主、平和の君』

日時・1986年1月22日～26日

会場・米国サウス・ジョージア州

セント・シモンズ島エプウォース海岸

合同メソジスト教会退修会場

- プログラムの奉仕者には主題説教
をウイルケ監督、米国からマシュー
ズ博士、バーグ師、ワグナー師、カ
ナダのハンター師、ドイツのマッテ
イス、メース両婦人、日本の海老沢
・大石両師、音楽指導はフロリダア
シュラム委員長ダフ師が当る。閉会
後東部の四都市の名所旧跡を訪ねる。
- 申込、十二月二七日までに、連盟
総務局大石副郎師あて、
○日程、一月22日正午成田発、ニュ
ーヨーク・アトランタ・ブランズ
・フィラデルフィア泊
・ニューヨーク二泊
26日(日)ワシントン二泊
27日(火)ワシントン二泊
28日(水)ニューヨーク二泊
29日(木)ボストン一泊
30日(金)サンフランシスコ着
1日(土)サンフランシスコ着
2日(日)バインメソジスト教会
で在留邦人アシュラム
3日(月)シスコ発、四日帰国
費用・旅費、宿泊食事、集会費一
切で六十万円以内

第六回国際アシュラム大会が上記
の如く、四年振り開催される。第五
回(フィンランド)には日本から二
十名が出席した。今回も多数参加し
て、各国の同志と共に平和の君なる
主との交わりに入り、神の國のため
に祈りたい。

プログラムの奉仕者には主題説教

をウイルケ監督、米国からマシュー

ズ博士、バーグ師、ワグナー師、カ

ナダのハンター師、ドイツのマッテ

イス、メース両婦人、日本の海老沢

・大石両師、音楽指導はフロリダア

シュラム委員長ダフ師が当る。閉会

後東部の四都市の名所旧跡を訪ねる。

○申込、十二月二七日までに、連盟

総務局大石副郎師あて、
○日程、一月22日正午成田発、ニュ

ーヨーク・アトランタ・ブランズ

・フィラデルフィア泊

・ニューヨーク二泊

26日(日)ワシントン二泊

27日(火)ワシントン二泊

28日(水)ニューヨーク二泊

29日(木)ボストン一泊

30日(金)サンフランシスコ着

1日(土)サンフランシスコ着

2日(日)バインメソジスト教会

で在留邦人アシュラム

3日(月)シスコ発、四日帰国

費用・旅費、宿泊食事、集会費一
切で六十万円以内

●三十年記念献金感謝録

左記の皆様の御協力を得て諸行事

を終了でき、心より御礼申上げます。

▼十万円、九州アシュラム

三万円 村上東(東北)

二万円 岡田実(関東)

一万五千円 碑文谷教会

一万円(4) 海老沢宣道、大石嗣

郎、渕江淳一、同千代子

五千円(2) 満丸茂、高瀬和子

二千円 植村俊雄

入金合計、三一七、〇〇〇円

(不足金は経常費より補充)

▼尚、連盟の経常活動のため、地区

及び個人有志よりのクリスマス献

金をお待ちいたします

総務理事 大石 副郎

五、静聴の時(向山師) 八百円

六、福音の時(二) 一千円

四、讃美と証しの時(満丸師) 一千円

五、静聴の時(向山師) 八百円

六、福音の時(二) 一千円

七、充满の時(満丸師) 一千円

八、福音の時(満丸師) 一千円

九、福音の時(満丸師) 一千円

十、福音の時(満丸師) 一千円

十一、福音の時(満丸師) 一千円

十二、福音の時(満丸師) 一千円

十三、福音の時(満丸師) 一千円

十四、福音の時(満丸師) 一千円

十五、福音の時(満丸師) 一千円

力セット・テープ発表

日本アシュラム三十周年記念

関東地区集会における全てを左記

七本に収録、特価で販売

一、礼拝(渕江師) 八百円

二、開心(海老沢師) 一千円

三、福音(マシュー師) 一千円

四、讃美と証しの時(満丸師) 一千円

五、静聴の時(向山師) 八百円

六、福音の時(二) 一千円

七、充满の時(満丸師) 一千円

八、福音の時(満丸師) 一千円

九、福音の時(満丸師) 一千円

十、福音の時(満丸師) 一千円

十一、福音の時(満丸師) 一千円

十二、福音の時(満丸師) 一千円

十三、福音の時(満丸師) 一千円

十四、福音の時(満丸師) 一千円

十五、福音の時(満丸師) 一千円

十六、福音の時(満丸師) 一千円

十七、福音の時(満丸師) 一千円

十八、福音の時(満丸師) 一千円

十九、福音の時(満丸師) 一千円

二十、福音の時(満丸師) 一千円

二十一、福音の時(満丸師) 一千円

二十二、福音の時(満丸師) 一千円

二十三、福音の時(満丸師) 一千円

二十四、福音の時(満丸師) 一千円

二十五、福音の時(満丸師) 一千円

二十六、福音の時(満丸師) 一千円

二十七、福音の時(満丸師) 一千円